

令和5年度 塩町中学校区小中一貫教育推進について

1 塩町中学校区小中一貫教育の目標

『確かな学力を身に付け、他者との関わりを通して自らを伸ばそうとする子供の育成』

2 目指す子ども像 ～実社会で必要な身に付けさせたい資質・能力

☐生きて働く知識・技能の習得

何を理解しているか、何ができるか

☐未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成

理解していること・できることをどう使うか

☐学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか【キャリア発達】

5つの約束 . . . 小中一貫重点指導5項目

☐ 「話をよく聞く」 ☐ 「自分の思いを伝える」

☐ 「あいさつをする」 ☐ 「家庭学習を毎日する」

☐ 「テレビ・ゲーム・SNS利用のルールを守る」

3 令和5年度塩町中学校区小中一貫教育推進組織図

塩町中学校区小中一貫教育推進協議会

構成：会 長 塩町中学校長

副会長 神杉小学校長 田幸小学校長 和田小学校長 川西小学校長

*副会長は当該学校の教頭が主査する部の会長であり、専決できる。

開催：月1回程度

主たる役割：方針、方向性の決定

総務部会

構成：事務局兼総務部会担当 塩町中教頭 教務主任部会担当 川西小教頭

研究主任部会担当 田幸小教頭 生徒指導主事部会担当 神杉小教頭

保健主事部会担当 和田小教頭 予算執行・会計処理事務 塩町中事務

開催：月1回程度

役割：各部会の取組の調整、情報交換、進捗状況管理、各部会からの提供・協議等

*事務局について

○会長の所属する学校

○役割 各部会の統括 塩町中学校区だより作成 総務部会まとめ作成

小中合同研修会の立案

教務主任部会

各校教務主任

研究主任部会

各校研究主任

生徒指導主事部会

各校生徒指導主事

保健主事部会

各校保健主事

塩町中学校区小中一貫教育グランドデザイン

塩町中学校区の子どもたちに付けたい力・めざす姿の共有化として、『グランドデザイン』を作成しました。これらは子どもたちが社会に出たとき社会で通じる力につながるものです。また、学校と家庭とが同じ視点を持ち、子どもたちをほめ、認め、励ましていくためのものです。各学校においては、子どもたちの主体的な学びを促し、社会で通用する子どもを育てる実践にチャレンジしていきましょう。

塩町中学校区 小中一貫教育

実社会に必要な身に付けさせたい **資質・能力**

学びに向かう力・人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

思考力・判断力・表現力等

理解していること・できる
ことをどう使うか

新しい学習指導要領の考え方（文部科学省）

○ 生きて働く 知識・技能 の習得	
【 知識・技能 】 何を理解しているか、何ができるか	
知識・技能	各教科等に関する個別の基礎的・基本的な知識や技能の習得 既存の知識との関連付け・組み合わせ
○ 未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力等 の育成	
【 思考力・判断力・表現力等 】 理解していること・できることをどう使うか	
思考力	問題を発見し、その解決に必要な情報の収集・蓄積 自分の持ちうる知識・技能のフル活用
判断力	必要な情報を取捨選択し、問題解決への方向性を定め、結論を決定
表現力	自分の意思・意見を状況に応じて相手にわかりやすく伝える
○ 学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性等 の涵養	
【 学びに向かう力・人間性等 】 どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか【 キャリア発達 】	
主体性	受動的にただ言われたことを学ぶのではなく、主体的に学習に取り組む態度 主体的に学び、自らの進路を実現する力
協働性	様々な人々と互いの良さを引き出しながら協働する力 持続可能な社会づくりに貢献する力 リーダーシップやチームワーク、豊かな感性や他者への思いやりの心

塩町中学校区小中一貫教育

学校・家庭・地域で育てよう！ 「5つの約束」

学校等 学年 連携 区分	保幼		低学年		中学年		高学年		中学校			
	年長	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
	初期			前期		中期			後期			
話をよく聞く	体を向けて、 目を見て			うなずいたり 質問したりして		メモを取り、 自分の考えと比較して			自分を知り、 相手を理解しようとして			
自分の思いを伝える	自分の思いを言葉で伝える			結論を先に 理由をつけて		伝えたいことの中心を、 明確に			時と場・目的に応じて 表現を工夫して			
あいさつをする	大きな声で			相手より先に		相手の目を見て、笑顔で、 おじぎをして			時と場に応じてさわやかに			
家庭学習を毎日する	親子で 読書	時間をきめて 最後まで	宿題を中心に自主学習の習慣も						自主学習（予習・復習）を中心に			
		20分	30分	40分	50分	60分	70分	90分	100分	120分		
テレビ・ゲーム・SNS利用 のルールを守る	親子で話し合いルールを決め、守る。					≪例≫ 時間を決める ストップ9 場所を決める 使わない日を決める						